

2023

隣保館だより

8月号



NO. 359

発行・編集

鹿沼市隣保館

鹿沼市万町 931-1

Tel.0289-64-4776



9月21日は国際平和デーです

9月21日は国際平和デーです。

国際平和デーとは、国連が定めた記念日です。

すべての国、すべての人々にとって共通の理念である国際平和を記念し、推進していく日として、すべての国連加盟国・国連機関・地域組織や NGO、そして個人に対してこの日の適切な方法で祝うよう呼び掛けています。

国連が「国際平和デー」を最初に宣言したのは、1981年です。2002年からは毎年9月21日を「国際平和デー」に定め、以降、世界の停戦と非暴力の日として、すべての国と人々にこの1日は、敵対行為を停止するよう働きかけています。

戦争は最大の人権侵害です。子どもや障がい者、女性、高齢者など社会的弱者が一番に命の危険に脅かされ、安心して暮らせない状況を作り出してしまいます。

平和なくして人権なし、人権なくして平和はありません。皆さんこの国際平和デーを機にもう一度平和について考えてみませんか。



鹿沼市の平和の取り組み

鹿沼市においても、平和の取り組みとして、様々な事業を展開しています。一部紹介します。

平成7年8月15日に平和都市を宣言しました。以下、宣言文

平和都市宣言文

豊かな水と緑に恵まれた鹿沼市は、先人が築いた誇れる歴史と伝統あるまちです。私たちは、この自然や歴史や伝統を後世の人々に伝えなければなりません。

私たちは、豊かな自然や伝統は、世界の平和なくして守れないことを、尊い犠牲を払って学びました。しかし、今なお世界の各地で、戦争によってかけがえのない命が失われています。

戦後50年にあたる今年、私たち市民は、非核三原則を堅持し、日本国憲法の本質である世界の恒久平和を達成するため努力することを決意し、ここに「平和都市」を宣言します。



市内の中学生を「広島平和記念式典」派遣

将来を担う中学生に戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶことを目的として、市内の中学生3年生20名を毎年「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」等へ派遣する広島平和記念式典事業を実施しており、今年で25回目になります。

輪投げでふれあう

7月13日（木）、第4回ふれあい事業として、隣保館職員による輪投げを行いました。7人ずつ2つのグループに分かれて、プレーが繰り広げられました。

相手に大きい点が入ると拍手を送り、点が入らないと「輪が棒の近くにいったね」「次、がんばろうね」など、声をかけながら和気あいあいとプレーを楽しんでいました。最後に上位5位を発表し、大きな拍手で事業を終えました。

この事業を通じて親睦が深まり自主活動グループ（ふれあい輪投げ）が誕生、月2回のペースで活動を行っています。どなたでも参加できますので、ぜひ、皆さんも参加してみませんか。



我が家の防災対策について



7月27日（木）、第5回ふれあい事業として、市危機管理課の職員2名を講師に迎え、「我が家の防災対策」について、研修を受けました。

普段、なかなか見る機会のない防災マップを開いて、住んでいる地域の洪水・浸水、避難場所などを確認したほか、実際の地震の様子を映像で学習しました。

参加者は、帰ったらすぐに家の安全点検や防災グッズの確認をしようと話していました。これからの大雨や地震などに備えるために、とても有意義な研修になりました。自分の命は自分で守る！日頃から注意を払って過ごしましょう。